

カード落とし 準備と作り方

紙箱と厚紙を使います。材料を選び、加工し、試し入れするところまで大人が行います。

最初に確認

紙を口に入れる・かじる・ちぎって口へ運ぶ様子がある間は、紙カードを使いません。
大きさや見守りだけで安全とは判断せず、素材と壊れ方も確認してください。

用意するもの

- ☐ ふたを外して中身を取り出せる、低く安定した丈夫な紙箱
- ☐ 角を丸くした丈夫な厚紙カードを、同じ形で2〜3枚
- ☐ カードを一枚ずつ取りやすい浅いかごや皿
- ☐ 大人の工作用：鉛筆・定規・はさみ・必要ならカッターとマット・テープ

使わない物：個人情報があるカード、ホチキス針、磁石、外れる飾り、小さな紙片。
この印刷用紙を切って、そのまま活動用カードとして渡さないでください。

作る順番

1 カードを整える

厚紙の四隅を丸くし、とがり・めくれを取り除きます。口に収まる物、すぐ折れる物は使いません。

2 実物を当てて下書き

カードの短い辺をふたに当て、横長の投入口を描きます。カードが折れずに通り、箱の中へ落ちる余裕を確かめます。

3 ふたを外して加工

大人がマットの上で切り抜きます。切り口は表裏を整え、テープを使う場合は端や粘着面が出ないようにします。

4 全部のカードで試す

一枚ずつ軽く入れて、引っかかりに落ちるか、箱が動かないか、ふたを外して取り出せるかを試します。

加工後は、工作道具・紙の切れ端・テープ片を回収します。ふたが外れやすい、裂ける、破片が出るなど、不安が残る物は使いません。

実物に合わせる 型取りと調整

大人が記入する工作メモです。固定寸法の型紙ではありません。用紙の外枠は切り取り線ではありません。

まず使うカードを選び、実物から寸法を決めます。記入した寸法はその試作品の記録です。
手作り品の安全基準や、すべての子どもに合う推奨寸法を示すものではありません。

1 カードの形を写す

使うカードを下の方欄に置き、輪郭を鉛筆でなぞります。角や持ちやすさを見直すメモにも使えます。形を変えた場合は、実物であらためて試します。

ここに実物の輪郭と、気になったところを書きます

この囲みの大きさに合わせてカードを作る必要はありません。

カードの素材 _____ 短い辺 _____ mm 長い辺 _____ mm

2 投入口は箱のふたへ直接下書き

カードの短い辺と厚みに合わせ、こすらずに通る余裕を持たせます。箱の端や折れ目は避けます。切り抜いた後も、縁の処理をしてから全カードで試し入れます。

投入口の横幅 _____ mm すき間 _____ mm 箱の素材 _____

引っかかった場所 / 直したこと _____

印刷確認線

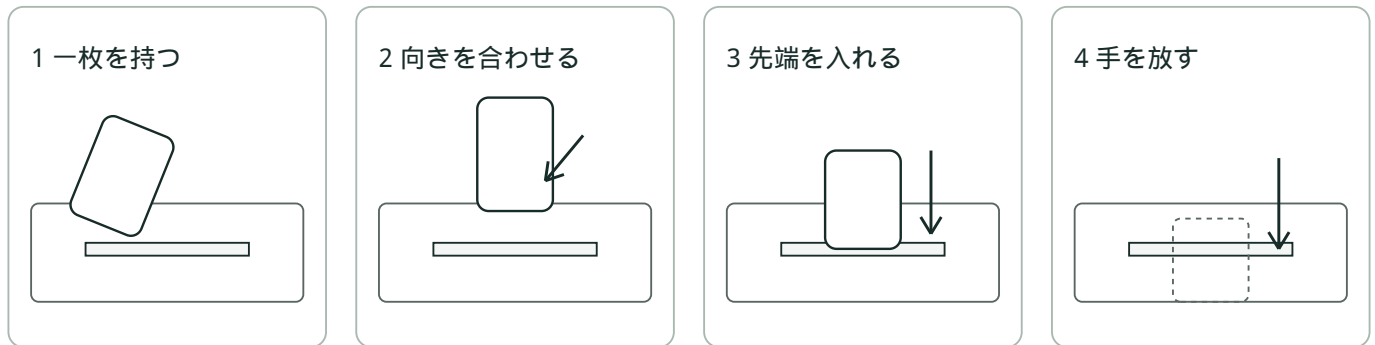


50 mm ※カードや投入口の推奨寸法ではありません

見せ方と 毎回の点検

大人が手の届く位置に付き添います。できた数だけでなく、向きを合わせたり持ち直したりする様子を見ます。

ゆっくり一度見せて その後は待つ



図は動きの説明用です。寸法・形・安全性を示す写真や型紙ではありません。

始める前

- ☐ 紙を口に入れたり、かじったりする様子がない
- ☐ カードと箱に、めくれ・尖り・裂け・破片・濡れがない
- ☐ テープ端や小さい部品が外れず、投入口に引っかかりがない
- ☐ 道具と切れ端を片付け、箱を安定した場所に置いた

開始前のカード ____ 枚

この様子が出たら終了

口へ運ぶ・かじる・ちぎる・投げる・投入口へ指を押し込む。
途中で離れたがる、道具が傷むときも、無理に続きません。

終わった後

- ☐ カードの枚数がそろい、破片や傷みがないことを確認した
- ☐ 箱とカードを、子どもだけで取り出して使わない場所へしまった

終了後のカード ____ 枚 日付 ____ / ____

見えた動きを一行 _____

記事 <https://kotobari.jp/montessori/card-drop/>

安全の参考 消費者庁 Vol.544「おもちゃなど小さなものを誤飲する事故に注意」